

# 北海道の食を世界へ

江別市は平成 23 年 12 月 22 日に札幌市、函館市、帯広市、十勝管内 18 町村とともに「北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区」として国から指定を受けました。

## 食の国際戦略

国内有数の食の生産基地で食料自給率 20% を誇る北海道の優位性を活かしつつ、売れる商品の開発や食の高付加価値化を進め、今後市場が拡大する東アジアに向け、食の一大発信基地を目指すのがこの特区構想の目的です。

このために、①研究機関や企業に対する食品の研究開発②輸出拡大に向けた体制を重視した取り組みを展開します。

## 特区指定によるメリット

特区の指定を受けると、国に対し、経済活動の障壁となる規制の緩和を提案できます。また、法人税の軽減などの税制上の支援措置で、企業が投資を進めやすい環境を整えます。さらに、特区関連事業としての位置付けで、大学や企業が国に対して申請する補助や委託の事業が採択されやすくなります。

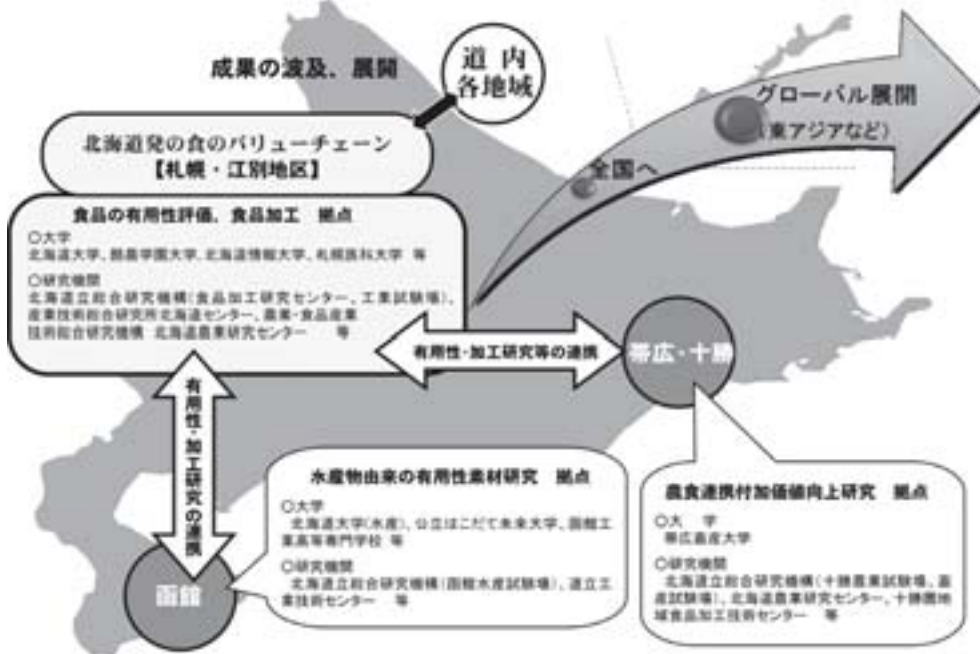
このことで江別市は、食品加工の研究機関や企業の集積地にふさわしい地区となり、企業誘致の際にもセールスポイントになります。

## 江別の潜在能力

江別はこれまで、市内の農業者、商工業者、飲食店が連携して、地元産小麦「ハルユタカ」の生産から消費までを市内で行い、その価値を高める取り組みを行ってきました。このことが

全国的にも注目され、国からベストプラクティス 30 選という、優良事例に選ばれるなど高い評価を受けています。

また、市内には、食品関連企業を技術面から応援する「北海道立総合研究機構 食品加工研究センター」や食を専門分野に持つ「酪農学園大学」などがあり、食品を研究する機関が集まっています。



## 特区へのご質問・ご意見をお寄せください。

特区では食に関する新たな規制緩和の提案が可能です。日頃から、食品の生産や製造の関係で、規制があつて困っているものなどありましたら、ファクスまたはメールで企業立地課までご意見をお寄せください。

(FAX) 381-1072、E-mail : kigyouricchi@city.ebetsu.lg.jp) 詳細) 企業立地課 381-1087

こうした取り組みが国に認められ、北海道や北海道経済連合会、関係自治体とこのたび北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区の指定を受けることとなりました。



## 北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区の説明会を開催します。

日時 2月25日(土) 15:30～  
会場 江別市民会館 37号室  
申込不要  
詳細 企業立地課 ☎ 381-1087



## 食育ってなに？

食育とは、食育基本法において「生きる上での基本であって、知育、徳育および体育の基礎となるべきものと位置付けるとともに、さまざまな経験を通じて『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」とこととされています。

## どうして計画が必要なの？

近年、就業形態の多様化などといった社会経済構造の変化や国民の価値観の多様化などに伴って、調理食品の消費による調理時間の節約や外食が定着するなど、食の多様化が進展してきました。その結果、栄養の偏りや食習慣の乱れに起因する肥満や生活習慣病の増加、あるいは過度の痩身といったさまざまな問題が起きています。それらを全て短期間に解決することは困難ですが、粘り強く食育に取り組んでいくことが必要です。

# 「江別市食育推進計画」を策定しました

江別市では、これまで各機関や市役所の各部署においてそれぞれ食育に関する取り組みを進めてきましたが、お互いが連携することで、より一層食育の取り組みを進めていく観点から、平成23年12月に「江別市食育推進計画」を策定しました。

## 江別ではどんな課題があるの？

江別市では、平成15年に「えべつ市民健康づくりプラン21」を策定し、市民、関係団体、行政が一緒になって市民の健康づくりを進めています。当プランに基づく取り組みにより、一定の成果があがっているところですが、比較的若い世代で朝食を食べない割合が高いことや農産物や加工食品の原材料や加工産地に対する関心が低いなどといった課題もみられます。



## ↑ これからの取り組み ↓

江別市食育推進計画策定委員会では4回にわたって検討いただいた内容や、市民のみなさんからのパブリックコメントを活かしながら江別らしい食育に関する取り組みを進めてまいりますので、みなさんもぜひご家庭をはじめ、さまざまな機会に食を見つめなおしていただければと思います。

【詳細】 農業振興課 ☎ 381-1025

## どのような内容なの？

「江別市食育推進計画」では「食育の推進方向」として、市民がいつまでも健康で暮らすことのできる「健康都市えべつ」の実現を目指し、  
○規則正しい食習慣を身につけましょう  
○食の大切さと感謝の気持ちを育てましょう  
○安全安心な食材を使って豊かな食生活を実践しましょう  
という3つの目標を掲げ、家庭・地域・生産者・事業者や行政などが連携・協働して食育の推進に努めることとしています。

# 「健康都市えべつ」の実現をめざして